

令和4年度
チャレンジやまぐち!



iCom 定期総会



特定非営利活動法人

iCom (アイコム)

誰か何かのための私 ~社会資源のカケラとして~



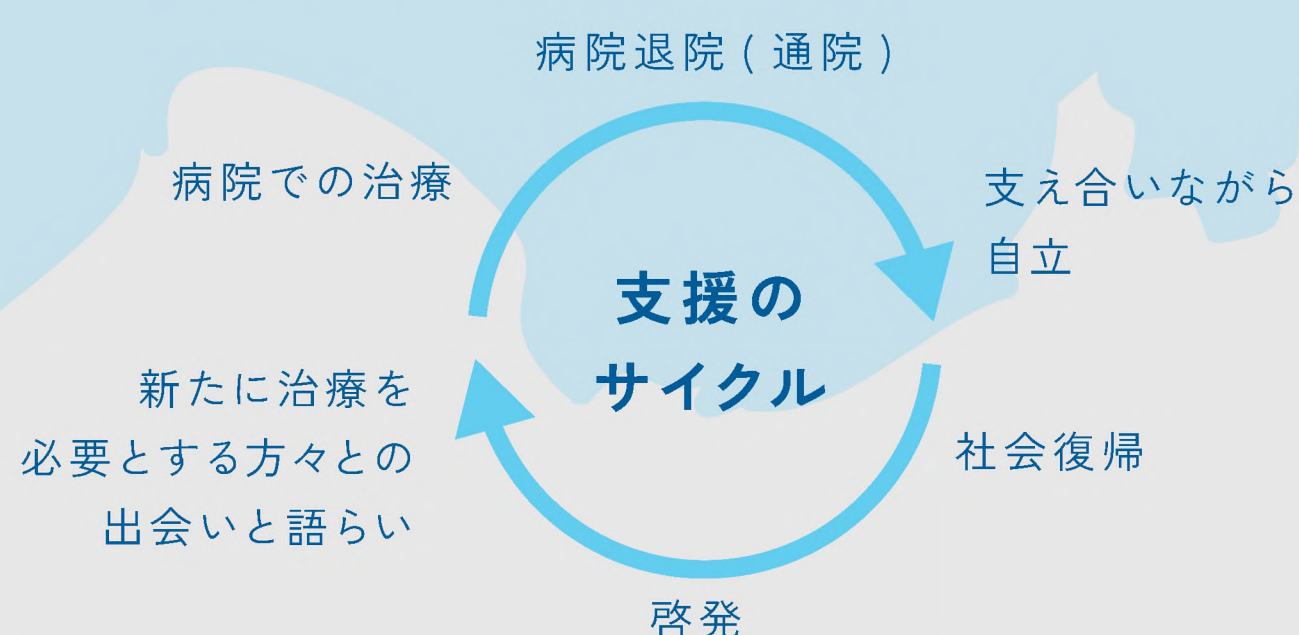
所在地 宇部市開6丁目10-28
設立時期 2017年 12月
会員数 14名

目的

アルコールをはじめとする依存症および大人の発達障がいやハンディのある方々が、回復して社会参加および社会復帰できるよう伴走支援するとともに、家族や親族だけでなく地域の方々へ病気の本質を伝え支援していくことを目的としています。

独自性

当事者による当事者の支援(伴走支援)、支えられて支えることを学び、地域連携を目指しています。



今後に向けて

相談支援等の活動開始を予定しています。さらに、依存症や発達障がいの方々が社会復帰へ向けて動き始めるところに大きな壁になるもの、ハードルの高い事柄や作業について負担が軽減できるよう、生活行動支援としての事業を開始。将来的にはグループホーム事業の立ち上げなども予定しています。

01



フォーラムを開催

依存症や発達障がいを知っていただくことを目的とし、医療関係の方々や回復を目指しておられる方々のお話から、生き辛さからイキイキとした人生に変わっていくことをお伝えするフォーラムになりました。医療関係者、当事者とその家族や一般の方々を含め170名の参加がありました。

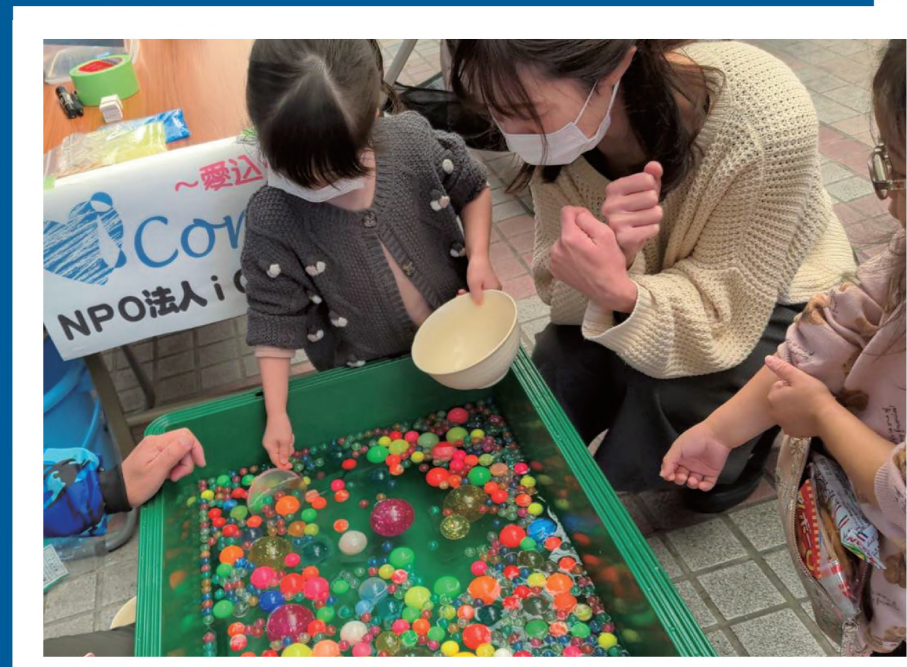
海岸清掃を実施

自然も人も大切にしたい気持ちと絆を育み守っていくという気持ちをあらためて持とう！という思いから開催したところ県外からも含めて100名以上の方の参加がありました。食事を取りながら小中学生との交流を深めたり、高齢者の方々にはレクリエーションを楽しんでいただいたりと、海岸清掃ができなくても年齢を問わず参加できるイベントとなりました。



02

03



宇部まつり等に出店

退院後間もなくの方や人と関わることの苦手な方々の視野を少しでも広げ、地域の方々との繋がりのきっかけになればと考え、宇部市民活動センター青空や宇部市社会福祉協議会主催のイベントに参加させていただいています。共に楽しむことで社会復帰への緊張や恐れを軽減、また社会の偏見が少なくなればと思っています。

農園作業

高嶺病院の入院さんや通院さんたちとiCom会員で農作業をし、採れたものはイベント等で販売したりしています。泥に触れて野菜や花を育てることで、命が育まれる喜びや心の落ち着きを得て、リフレッシュを図っています。(現在は新型コロナの影響でお休み中)



04

05



学生さんへ精神看護学実習

令和3年度より国立大学法人山口大学医学部保健学科看護学専攻の学生さんの実習をさせていただいています。精神看護の分野で、実習内容としては依存症や自助会についての説明、依存症や発達障がい当事者の体験談を聞いていただいています。(新型コロナの影響で6回に分けて実施)